

# 静岡県版 レッドデータブックの 改訂について



アカウミガメ



ライチョウ



くらし・環境部 自然保護課

## 生態系のバランス変化を捉えて保全

私たちの生活

生態系



多様な生物種は、  
私たちの生活の石垣!!

生物種

### 県の役割

生態系の  
バランス変化を  
捉える

=

絶滅のおそれ  
のある生物を  
把握



生態系の  
保全に  
つなげる

# 静岡県版レッドデータブックの位置付け



県内生物種の現状を  
調査により把握



絶滅可能性のある  
種をリスト化



静岡県版  
レッドリスト **一覧**



種ごとに詳細  
情報を記載



静岡県版  
レッドデータブック

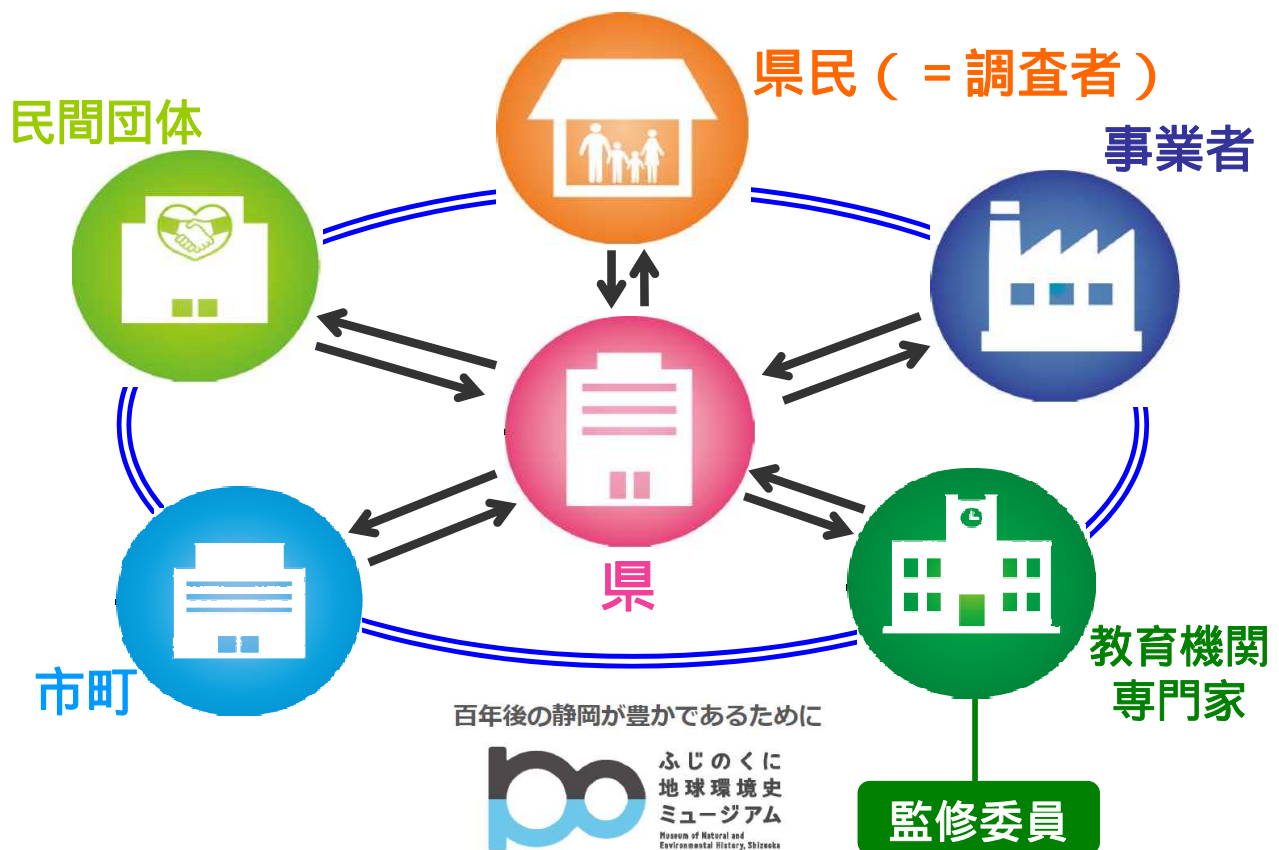
**解説**



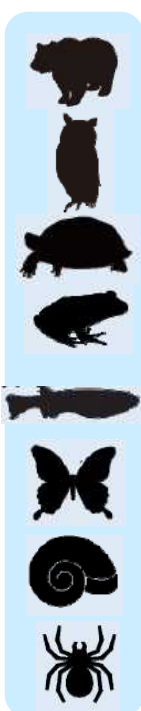
# 静岡県版レッドデータブックの構成



# 県民や民間団体との連携・協働



## 動物編の改訂版



	絶滅のおそれのある種	その他希少種	掲載種数
哺乳類	3	28	31
鳥類	52	26	78
爬虫類	1	7	8
両生類	5	10	15
淡水魚類	23	31	54
昆虫類	60	138	198
陸・淡水産貝類	29	38	67
クモ類	3	20	23
計	176	298	474

# 改訂版の特徴～学術的価値の向上～

初版

クロコハゼ *Drombus* sp. ハゼ科 Gobiidae

静岡県カテゴリー 要注目種 (N-III 部会注目種) / 西部・伊豆 要注目種 (N-III 部会注目種) [環境省カテゴリー なし]

- 種の解説**  
5cm 程度の黒色の魚である。オスの第 1 背鰭に黒色斑点がある。この属の魚については現在分類学的な研究がなされているところであり、学名は未確定である。
- 分布**  
本種全体の分布域は不明である。日本では、和歌山県以南の南日本太平洋沿岸から琉球列島まで知られている。静岡県は既知の分布域の東側にあるもの、本調査では、西部の太田川と馬込川及び伊豆の青野川でそれぞれ少数の個体が入っている。
- 生息環境**  
河口付近や河口近くの支流の下流部の岸辺の石の間、水生植物の陰などから採集されている。内湾でも採集されることがあるようであるが、本種の詳しい生息はまだ明らかにされていない。
- 生息状況**  
近年に失われた魚で、南方系の魚と思われる。成魚サイズの魚もえられたことから、本県の川に既に定着しているのではないかと考えられる。しかしその生息密度はごく低いようであり、今後の調査が必要である。
- 主な文献**  
岩田明久 (2001) クロコハゼ。川即類鑑から編 日本の淡水魚。p.568。山と溪谷社。東京。  
(板井隆彦・北原佳郎・北野 史)

改訂版

クロコハゼ *Drombus* sp. ハゼ科 Gobiidae

静岡県カテゴリー 要注目種 (N-III 部会注目種) / 西部・中部・伊豆 要注目種 (N-III 部会注目種) 変更なし [環境省カテゴリー なし]

写真



1. 種の解説  
全長約 5 cm の小型のハゼ科魚類。体色は黒褐色、胸鰭基部上部に三角形の白色斑があり、体側には褐色の縦帯がある。オスでは黒色斑がある。繁殖期は 7～9 月で、汽水域の石の下面やカキ殻内に長楕円形の小型卵を産卵する。成長がよいものでは孵化後 2 年で繁殖に加わると考えられる。

2. 分布  
国外 慎重な検討が必要である。静岡県、静岡県、三重県、和歌山県、徳島県、高知県、愛媛県、長崎県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県に分布する。県内では西部の馬込川、太田川、菊川、弁財天川、中部の萩間川、勝間田川、坂口谷川、小坂川、巴川、庵原川、伊豆の那賀川水系岩中島川、青野川、新田川など、河口域の発達した河川。

3. 生息環境  
河口付近から内湾の汽水域に生息し、泥底から砂泥底で主に採集される場所などでみられる。

4. 生息状況  
県内では河川は少ないが、青野川では河川に定着していると考えられる。河口域における護岸整備 (13) や浅瀬 (14) による生息環境の悪化が原因と考えられる。

5. 減少の主要因と脅威  
減少の主要因と脅威  
河口域における護岸整備 (13) や浅瀬 (14) による生息環境の悪化が原因と考えられる。

6. 保護対策  
特別な保護対策はとられていない。

7. 特記事項  
明仁天皇陛下 (小名) 不詳のまま和名が付された。未記載種と思われる。現在、渋川らによる調査が行われている。

8. 主な文献  
北原佳郎・板井隆彦 (2006) 静岡県におけるクロコハゼ *Drombus* sp. の分布及び定着状況。2006 年度日本魚類学会年會講演要旨: 66  
Onikura, N., R. Inui, K. Eguchi, T. Nishida & J. Nakajima (2008) Spawning site of "Kuroko-haze" (*Drombus* sp.) (Pisces, Gobiidae) in eastern Kyushu Island, Japan: New record from the field. *Biogeography*, 10: 13-16  
Shibata, T. (2010) Diversity of sand or sandy mud-dwelling gobiine genera in river areas in southern Japan. Abstracts of 9th Indo-Pacific Ichthyology Symposium: 21

9. 標本  
ふじくに地球環境史ミュージアム魚類資料 (SPMN-PI 40765)、神奈川県立生命の星・地球博物館魚類資料 (KPM-NI 16633)  
(北原佳郎・渋川浩一)

上: オス 太田川 2015 年 10 月 10 日 北原佳郎  
下: メス 勝間田川 2015 年 6 月 28 日 北原佳郎

2003 年以前  
2004 年以降



生活史

分布図

減少の主要因と脅威

保護対策

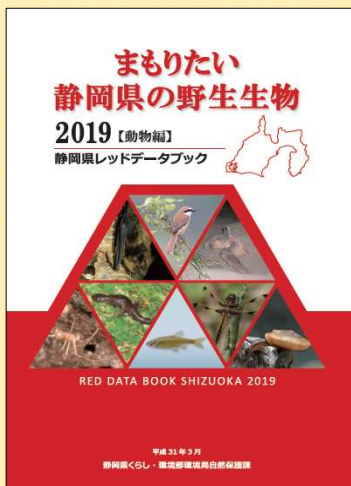
標本の所在

多くの県民が活用できるように  
学術的価値の高いものに

HPで公開

# 豊かな自然の保全を目指して

## 静岡県版レッドデータブック



### 規制

種・保護地区の指定  
捕獲・採取等の禁止  
開発行為の制限

### 保護回復事業

指導・啓発  
協定の締結  
保全措置の要請

### 監視活動

保護監視員



生態系の保全

